

第1学年 学年通信

平成30年(2018年)1月26

Clover

第31号

『トライやる・ウィークにむけて』

今週は、インフルエンザが猛威を振るい、2クラスが学級閉鎖になってしまいました。みんなが、楽しみにしているスキー実習まで後約2週間。体調には十分気をつけてください。

さて、来年に行われる「トライやる・ウィーク」の取り組みも、スキーの取り組みと同時に始まります。スキーの時と同様に提出物の期限に十分注意して下さい。江井島中学校だけで行っている取り組みではないので、提出が遅れたり忘れたりしてしまった人を待つことはできません。また、体験を希望する事業所についてはお家の人と十分話し合ってください。全員が希望通りとはいかないかもしれませんが、「誰と行きたい」ではなく、「何をしたい」かで選ぶことが大切です。

☆トライやる・ウィークとは

1. 「トライやる・ウィーク」が始まった理由。

「トライやる・ウィーク」は2つの大きな出来事を契機として実施することになりました。

1つ目は、1995年1月の阪神・淡路大震災です。この震災では、大きな被害を出した一方、自分や他の人の命や人権を尊重する心。ボランティア精神、共に生きることの大切さなど多くの教訓をもたらしました。さらに1997年には、神戸市須磨区での大変痛ましい事件が発生しました。この事件は、人間としてのあり方。生き方を改めて考えさせるとともに、社会生活上のルールや善悪の判断。自己責任の自覚や自律・自制の心を育てることの大切さを再認識することになりました。そして、「トライやる・ウィーク」の意味は「挑戦する：トライ」とともに、「学校・家庭・地域の3つの連携：トライアングル」の意味も込められています。地域での体験、各事業所の方との関わりなどを通して、豊かな感性や想像力などを自ら高め、自分なりの生き方を見つけることができる1つの機会にするために「トライやる・ウィーク」が始まったのです。

2. 「トライやる・ウィーク」の意義

- (1) 学校を離れ、自分が住んでいる地域の人々や各事業所の人達とふれあい、異なった年代の人々とのコミュニケーションを大切にしよう。
- (2) 社会の一員としての自分の存在を確かめ、自分自身がやれることを一生懸命やり遂げよう。
- (3) 体験学習を通して、将来の自分自身の進路を考える機会にしよう。

3. 日程・時間・場所

〈日程〉平成30年6月4日(月)～6月8日(金)

※ただし、定休日等があった場合は、別の取り組みを実施する。

〈時間〉9:00～15:00

※事業所によって活動時間が異なる場合もある。

〈場所〉江井島中学校区を中心に約60事業所(昨年度の場合)

4. 「トライやる・ウィーク」の主な取組日程

○1月26日(金) 1校時「トライやる・ウィーク」オリエンテーション
SHR: 県市等関連施設の紹介と申込み時の注意事項

○2月2日(金) 県市等関連施設申込み締切

○2月16日(金) 県市等関連施設決定

○3月 一般事業所希望調査

※トライやるの取り組みは3学期中から少しずつ行っていく予定です。

保護者の方へのお願い

現在、昨年「トライやる」の活動にご協力いただいた事業所へ今年も受け入れが可能かどうかのアンケートを行っています。残念ながら諸般の事情により、今年の受け入れができないとの回答の事業所がいくつかあります。もし、お知り合いの方で、「トライやる・ウィーク」の活動を受けてもよいという事業所がありましたら、ご紹介いただくと、大変ありがたいです。よろしくお願いします。

スキー実習保護者説明会のお知らせ

1月29日(月)15時～ コミセン1F会議室

以前、申し込みいただいていない場合でも、ご出席いただくことができます。ご出席よろしくお願いします。